

フェザーストン事件81周年追悼式典の開催

2024年2月25日、フェザーストン事件81周年の追悼式典が行われました。第二次大戦中の1943年2月25日、当時フェザーストンにあった捕虜収容所において、日本人捕虜とニュージーランド軍兵士が衝突、日本人捕虜48名とNZ兵士1名が死亡した事件が起こりました。捕虜収容所跡地の記念公園において、この犠牲者を追悼する式典が毎年開催されています。

在ニュージーランド日本国大使館を代表して大嶋勝臨時代理大使が式典に出席して献花を行うとともに、追悼の挨拶において、「私たちは亡くなった方々のことを想うと同時に、どうすれば戦争のない平和な未来を実現できるのか、深く考えなければならない。また、この日は日本とNZの長年にわたる友好関係を振り返る時でもあり、現在の両国の緊密な関係は、政府の協力だけでなく、両国民の理解と支援によって成り立っている。先人たちに敬意を表しながら、これからも末永く友好を深めていきたい。」と述べました。

この式典には、マーティン・コネリー南ワイララパ市長、ウェイン・シェルフオードNZ退役軍人協会会長、ピーター・ジャクソン同協会フェザーストン支部長、マイク・バタリック議員（ワイララパ選挙区選出）、キエラン・マクアナルティ議員（前防災大臣）、ロン・マーク・カータートン市長（元国防大臣）、ローズ・キングNZ陸軍本部長代理、ハウアリキ・マラエ長老のウィレム・ドーソン氏、ラーウィン・マックグレガー・ウェリントン堺協会副会長をはじめとする来賓や地元関係者が出席し、追悼の意を捧げました。

記念公園内の慰霊碑や「桜ガーデン」の設置には、日系企業の住建NZ社が貢献し、長年にわたり地元市民との和解・交流に尽力してきました。住建NZ社からも代表者が追悼式典に出席しました。

大嶋臨時代理大使は、この追悼式典を毎年開催している南ワイララパ市とNZ退役軍人協会、及び日本との友好関係の増進に貢献する地元関係者に深い感謝の意を示しました。



追悼式典出席者との記念撮影



追悼式典出席来賓との記念撮影



追悼式典後の懇親会の様子



大嶋勝臨時代理大使による挨拶



収容所跡地慰霊碑への献花



日本人犠牲者慰霊碑への献花



ニュージーランド人犠牲者慰霊碑への献花